

定期点検記録様式

点検記録様式(その1)
橋梁の諸元と定期点検総合結果(1/2)

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名			路 線 名			管 轄	神奈川県	橋梁コード	
所 在 地	自		距 離 標	自			〇〇土木事務所・センター	調書更新年月日	
	至			至					

供用開始日		橋長		活荷重・等級		等橋			適用示方書													
上部構造形式				幅員	全幅員		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯		中央分離帯	
					有効幅員																	
				代替路の有無				自専道or一般道			緊急輸送道路					交通条件	調 査 年					
下部構造形式				路下条件						占用物件(名称)							交 通 量	台				
				備考														昼間12時間				
基礎形式														荷重制限	実 施 年							
															制 限 重 量		t					

定期点検総合結果

告示に基づく 健全性の診断 の区分	対応や調査の必要性	
	E	S1
	M	S2

定期点検総合結果に関する補足	

点検記録様式(その1)
橋梁の諸元と定期点検総合結果 (2/2)

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

性能の評価結果			現地確認年月日		橋梁診断員(所属、氏名)			
	想定する状況における各構成要素等の状態の評価							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)								
上部構造		写真番号		写真番号		写真番号		写真番号
上下部接続部		写真番号		写真番号		写真番号		写真番号
下部構造		写真番号		写真番号		写真番号		写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号		写真番号		写真番号		写真番号
その他(伸縮装置)		写真番号		写真番号		写真番号		写真番号

橋梁診断員所見	
---------	--

点検記録様式(その2)
構成要素の機能を担う部材群(システム)毎の性能の評価結果

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

		現地確認年月日		橋梁診断員	
--	--	---------	--	-------	--

構成要素		構成要素の機能を担う部材群(システム)	性能の評価結果				特定事象の種類	現地での応急措置	
			想定する状況					措置の有無 (有もしくは無)	応急措置内容 (有の場合に記載)
			活荷重	地震	豪雨・出水	その他			
上部構造	i	通行車などによる路面に作用する荷重を直接的に支持する機能を担う部材群(床版・床組システム)				() ()			
	ii	上部構造へ作用する鉛直及び水平方向の荷重を支持し、上下部接続部まで伝達する機能を担う部材群(主桁・主構システム)				() ()			
	iii	上部構造へ作用する荷重を主桁等が上下部接続部に伝達するとき、荷重の支持、伝達を円滑にするための機能を担う部材群(立体機能保持システム)				() ()			
上下部接続部	iv	上部構造からの荷重を支持し、下部構造へ伝達する機能を担う部材群(支点反力支持システム)				() ()			
	v	上部構造と下部構造が機能を発揮する前提として、必要な幾何学的境界条件を付与する機能を担う部材群(位置保持システム)				() ()			
下部構造	vi	上下部接続部からの荷重を直接支持し、基礎・周辺地盤に伝達するとともに、上下部接続部の位置を保持する機能を担う部材群(支点位置保持システム)				() ()			
	vii	橋脚・橋台躯体からの荷重を支持し、橋の安定に関わる周辺地盤等に伝達するとともに、地盤面での橋の位置を保持する機能を担う部材群(地表面位置保持システム)				() ()			
その他(フェールセーフ)						() ()			
その他(伸縮装置)						() ()			

備考 (性能の評価にあたっての特記事項等)	
--------------------------	--

	措置の必要性 (有もしくは無)	損傷の種類	備考	現地での応急措置	
				措置の有無 (有もしくは無)	応急措置内容 (有の場合に記載)
その他の構造 (フェールセーフ・伸縮装置以外)					

点検記録様式(その3) 径間別一般図		径 間 番 号				起 点 側		緯 度		終 点 側		緯 度		施設ID		
						起 点 側		経 度		終 点 側		経 度				
フリガナ 橋 梁 名				路 線 名				管 理 者				橋 梁 コー ド				
				現 地 確 認 年 月 日						橋 梁 検 査 員						
【全体図】 【一般図】																

点検記録様式(その4)
診断のための状態の把握時の現地状況写真

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

		現地確認年月日				橋梁診断員						
現 地 状 況 写 真	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
	メモ (必要に応じて)				メモ (必要に応じて)				メモ (必要に応じて)			
	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
	メモ (必要に応じて)				メモ (必要に応じて)				メモ (必要に応じて)			

点検記録様式(その5) 力学的な機能を担う部材群(システム)の区分			径 間 番 号				起点側		緯度				終点側		緯度				施設ID				
フリガナ 橋 梁 名					路 線 名					管理者					橋梁コード								
																		橋梁診断員					
力 学 的 機 能 に 基 づ く 部 材 群 等 の 区 分	i ～ vii の各システムに属する部材群名と部材群番号を記入する。なお、複数のシステムに部材群が属する場合は、該当するシステム全てに記入すること。																						
	構成要素名		力学的な機能を担う部材群(システム)名			部材群名		部材群 番号		部材群名		部材群 番号		部材群名		部材群 番号							
	上部構造		i		床版・床組システム																		
			ii		主桁・主構システム																		
			iii		立体機能保持システム																		
	上下部 接続部		iv		支点反力支持システム																		
			v		位置保持システム																		
	下部構造		vi		支点位置保持システム																		
			vii		地表面位置保持システム																		
	【耐荷機構の整理図】																						

点検記録様式(その6) 要素番号図及び部材番号図		径 間 番 号		起 点 側		緯 度		終 点 側		緯 度		施 設 ID	
フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管 理 者		橋 梁 コー ド							
		現 地 確 認 年 月 日				橋 梁 検 査 員							
要素番号図及び部材番号図													

点検記録様式(その7) 診断のための状態把握の方法	径 間 番 号		起 点 側	緯 度		終 点 側	緯 度		施 設 ID	
				経 度			経 度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管 理 者		橋 梁 コー ド	
---------------	--	-------	--	-------	--	----------	--

近接目視以外の方法を選定した箇所	現 地 確 認 年 月 日		橋 梁 診 断 員	
------------------	---------------	--	-----------	--

部 材 名	要 素 番 号	点 検 方 法	機 器 等 の 性 能 や 条 件 、 特 記 事 項 等

○近接目視以外の方法を選定した箇所を記載する。

点検記録様式(その8-1) 部材群毎の性能の評価結果				径間番号		起点側		緯度		経度		終点側		緯度		経度		施設ID					
フリガナ 橋梁名						路線名						管理者						橋梁コード					
						現地確認年月日										橋梁診断員							
構成要素名						力学的な機能を担う部材群名								部材群番号				属するシステム					
写真										想定する状況における部材群の状態の技術的な評価													
写真番号		部材名		要素番号		写真番号		部材名		要素番号		想定する状況											
損傷の種類						損傷の種類						活荷重		地震		豪雨・出水		その他					
																		()		()			
										特定事象等の有無(有もしくは無)													
疲労		塩害		アルカリ 骨材反応		防食機能 の低下		洗掘		伸縮装置から の漏水の影響		その他											
緊急対応の必要性 (有もしくは無)						維持工事等対応の必要性 (有もしくは無)						調査の必要性(有もしくは無)											
												詳細調査						追跡調査					
E						M						S1				S2							
										所見													
写真番号		部材名		要素番号		写真番号		部材名		要素番号													
損傷の種類						損傷の種類																	

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

点検記録様式(その8-2)
部材群毎の性能の評価結果

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

				現地確認年月日				橋梁診断員																															
構成要素名				力学的な機能を担う部材群名						部材群番号				属するシステム																									
写真										想定する状況における部材群の状態の技術的な評価																													
写真番号				部材名				径間番号				写真番号				部材名				径間番号				想定する状況															
損傷の種類				要素番号				損傷の種類				要素番号				活荷重		地震		豪雨・出水		その他																	
																				(				(															
																				特定事象等の有無(有もしくは無)																			
										疲労				塩害				アルカリ 骨材反応				防食機能 の低下				洗掘				伸縮装置から の漏水の影響				その他					
																				緊急対応の必要性 (有もしくは無)				維持工事等対応の必要性 (有もしくは無)				調査の必要性(有もしくは無)											
																												詳細調査				追跡調査							
																				E						M						S1				S2			
																				所見																			
写真番号				部材名				径間番号				写真番号				部材名				径間番号																			
損傷の種類				要素番号				損傷の種類				要素番号																											

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

点検記録様式(その9-1)
その他(フェールセーフ)の評価結果

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

現地確認年月日		橋梁診断員	
---------	--	-------	--

構成要素名																										
写真										想定する状況における部材群の状態の技術的な評価																
写真番号		部材名		径間番号		写真番号		部材名		径間番号		想定する状況														
損傷の種類				要素番号		損傷の種類				要素番号		活荷重	地震	豪雨・出水	その他											
															() ()											
												特定事象等の有無(有もしくは無)														
												疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能 の低下	洗掘	伸縮装置から の漏水の影響	その他								
												緊急対応の必要性 (有もしくは無)				維持工事等対応の必要性 (有もしくは無)		調査の必要性(有もしくは無)								
																		詳細調査		追跡調査						
												E				M				S1		S2				
												所見														
写真番号		部材名		径間番号		写真番号		部材名		径間番号																
損傷の種類				要素番号		損傷の種類				要素番号																

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

点検記録様式(その9-2)
その他(伸縮装置)の評価結果

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

現地確認年月日		橋梁診断員	
---------	--	-------	--

構成要素名																													
写真										想定する状況における部材群の状態の技術的な評価																			
写真番号		部材名		径間番号		写真番号		部材名		径間番号		想定する状況																	
損傷の種類				要素番号		損傷の種類				要素番号		活荷重	地震	豪雨・出水	その他														
															()		()												
												特定事象等の有無(有もしくは無)																	
												疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能 の低下	洗掘	伸縮装置から の漏水	その他											
												緊急対応の必要性 (有もしくは無)				維持工事等対応の必要性 (有もしくは無)				調査の必要性(有もしくは無)									
																				詳細調査		追跡調査							
												E				M				S1		S2							
												所見																	
写真番号		部材名		径間番号		写真番号		部材名		径間番号																			
損傷の種類				要素番号		損傷の種類				要素番号																			

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

点検記録様式(その10)
その他の構造(フェールセーフ・伸縮装置以外)の評価結果

起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
	経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

現地確認年月日		橋梁診断員	
---------	--	-------	--

構成要素名																			
写真										緊急対応の必要性 (有もしくは無)		維持工事等対応の必要性 (有もしくは無)		調査の必要性(有もしくは無)					
写真番号		部材名		径間番号		写真番号		部材名		径間番号		詳細調査		追跡調査					
損傷の種類				要素番号		損傷の種類				要素番号		E		M		S1		S2	
										所見									
写真番号		部材名		径間番号		写真番号		部材名		径間番号									
損傷の種類				要素番号		損傷の種類				要素番号									

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

点検記録様式(その11) 維持工事等の必要性		起点側		緯度		緯度		施設ID	
				経度		経度			
フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者			橋梁コード		
			現地確認年月日			橋梁診断員			

維持工事等の対応が必要な部材等一覧

径間番号	箇所	状態と必要な行為	写真番号

維持工事等の対応が必要なその他構造(フェールセーフ)一覧

径間番号	箇所	状態と必要な行為	写真番号

維持工事等の対応が必要なその他構造(伸縮装置)一覧

径間番号	箇所	状態と必要な行為	写真番号

維持工事等の対応が必要なその他構造(フェールセーフ及び伸縮装置以外)一覧

径間番号	箇所	状態と必要な行為	写真番号

橋梁利用者及び第三者被害の予防措置の実施記録様式(その1) 予防措置時の現地状況写真				起点側		緯度		終点側		緯度		施設ID					
		経度				経度											
フリガナ 橋 梁 名						路 線 名						管理者					
				実施年月日								実施者					
現 地 状 況 写 真	写真番号				径間番号				写真番号				径間番号				
	写真番号				径間番号				写真番号				径間番号				
	写真番号				径間番号				写真番号				径間番号				
	写真番号				径間番号				写真番号				径間番号				
	写真番号				径間番号				写真番号				径間番号				
メモ (必要に応じて)						メモ (必要に応じて)						メモ (必要に応じて)					
メモ (必要に応じて)						メモ (必要に応じて)						メモ (必要に応じて)					

[illegible]

橋梁利用者及び第三者被害の予防措置の実施記録様式(その3) 予防措置の実施状況写真				径 間 番 号				起点側		緯度				終点側		緯度				施設ID				
フリガナ 橋 梁 名						路 線 名						管理者						橋梁コード						
備考																								
						実施年月日										実施者								
状 況 写 真	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
					メモ						メモ						メモ							
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
					メモ						メモ						メモ							

データ記録様式(その2) データの収集・記録の方法		径 間 番 号		起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
					経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

近接目視以外の方法の選定した箇所	現地確認年月日		橋梁検査員	
------------------	---------	--	-------	--

部材名	部材番号	要素番号	点検方法	機器等の性能や条件、特記事項等

○近接目視以外の方法を選定した箇所を記載する。

データ記録様式(その3-1)		径間番号		起点側		緯度		終点側		緯度		施設ID	
損傷図						経度				経度			
フリガナ		路線名		管理者				橋梁コード					
橋梁名													
				現地確認年月日				橋梁検査員					
損傷図													

データ記録様式(その3-2) 損傷写真				径 間 番 号				起点側 <table border="1"> <tr><td>緯度</td><td></td></tr> <tr><td>経度</td><td></td></tr> </table>		緯度		経度		終点側 <table border="1"> <tr><td>緯度</td><td></td></tr> <tr><td>経度</td><td></td></tr> </table>		緯度		経度		施設ID				
緯度																								
経度																								
緯度																								
経度																								
フリガナ 橋 梁 名					路 線 名				管理者				橋梁コード											
備考																								
								現地確認年月日								橋梁検査員								
損 傷 写 真	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
	損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度			
					前回損傷程度						前回損傷程度						前回損傷程度							
					メモ						メモ						メモ							
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
	損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度			
					前回損傷程度						前回損傷程度						前回損傷程度							
					メモ						メモ						メモ							

データ記録様式(その3-4)
損傷程度の評価結果総括

フリガナ
橋 梁 名

現地確認年月日

橋梁検査員

[illegible]

※損傷程度が進行した部材及び新たな損傷が見られた部材を対象に記録する。

データ記録様式(その4-1) 洗掘の状態写真				径 間 番 号				起点側		緯度				終点側		緯度				施設ID				
フリガナ 橋 梁 名						路 線 名						管理者						橋梁コード						
備考																								
						現地確認年月日										橋梁検査員								
洗掘 の 状 態 写 真	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
	損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度			
					前回損傷程度								前回損傷程度								前回損傷程度			
					メモ								メモ											
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
	損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度			
					前回損傷程度								前回損傷程度								前回損傷程度			
					メモ								メモ											

[illegible]

データ記録様式(その5-1) 塩化物イオン量の計測結果	径 間 番 号		起点側	緯度		終点側	緯度		施設ID	
				経度			経度			

フリガナ 橋 梁 名		路 線 名		管理者		橋梁コード	
---------------	--	-------	--	-----	--	-------	--

現地確認年月日		橋梁検査員	
---------	--	-------	--

計測結果一覧

かぶり																			
工種	材料	部材種別		要素 番号	測定 位置	設計かぶり (mm)	かぶりの 代表値(mm)	かぶりの測定値(mm)								実測による かぶり(mm)	実測かぶり 測定位置	かぶりの測定方法	
		名称	記号					測定値1	測定値2	測定値3	測定値4	測定値5	測定値6	測定値7	測定値8			記号	名称

塩化物イオン量																								
工種	材料	部材種別		要素 番号	測定 位置	中性化 深さ(mm)	鉄筋位置での 塩化物イオン 量(kg/m3)	測定深さ(上段:始端mm,中段:終端mm)、測定値(下段:kg/m3)										塩化物イオン量試験方法		初期塩化物イ オン量 (kg/m3)	表面塩化物イ オン量 (kg/m3)	見掛けの拡散 係数 (cm2/年)	将来推定年	将来の鉄筋 位置での塩化 物イオン量 (kg/m3)
		名称	記号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	記号	名称					
																			</					

位置図		注1) かぶりの代表値:測定結果の10%分位点(塩害に関する特定点検要領参照)を入力する。 注2) 測定位置:位置図に示した記号と対応させる。 注3) 実測によるかぶり、実測かぶり測定位置:電磁波反射法で、実測によりキャリブレーションを行った場合に記入する。 注4) 測定深さ:コンクリート部材表面からの深さ。
		備考

データ記録様式(その5-2) 塩化物イオン量の計測状況写真				径 間 番 号				起点側		緯度				終点側		緯度				施設ID				
フリガナ 橋 梁 名						路 線 名						管理者						橋梁コード						
備考																								
						現地確認年月日										橋梁検査員								
塩 化 物 イ オ ン 量 の 計 測 状 況 写 真	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
					メモ						メモ						メモ							
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
					メモ						メモ						メモ							
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	部材名				要素番号				部材名				要素番号				部材名				要素番号			
				メモ						メモ						メモ								

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度		施設ID
(フリガナ)						
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
			上部構造 下部構造 基礎構造

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		定期点検者	
	想定する状況			
	活荷重	地震	豪雨・出水	その他
橋(全体として)				()
上部構造	写真番号	写真番号	写真番号	() 写真番号
下部構造	写真番号	写真番号	写真番号	() 写真番号
上下部接続部	写真番号	写真番号	写真番号	() 写真番号
その他(フェールセーフ)	写真番号	写真番号	写真番号	() 写真番号
その他(伸縮装置)	写真番号	写真番号	写真番号	() 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側	終点側
概ねこのセル枠内の上に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 また、画像のオブジェクト名を「全景写真」として下さい。	

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		0		定期点検実施年月日		0		定期点検者		0		0	
構成要素						構成要素							
想定する状況			構成要素の状態			想定する状況			構成要素の状態				
概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真01(数字は半角)」として下さい。						概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真02(数字は半角)」として下さい。							
写真番号		1		径間				部材番号					
備考 (適宜、特記事項など)						備考 (適宜、特記事項など)							
構成要素						構成要素							
想定する状況			構成要素の状態			想定する状況			構成要素の状態				
概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真03(数字は半角)」として下さい。						概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真04(数字は半角)」として下さい。							
写真番号		3		径間				部材番号					
備考 (適宜、特記事項など)						備考 (適宜、特記事項など)							

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	0		定期点検実施年月日		0	定期点検者	0	0
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他				
上部構造					—					
下部構造	—			—						
上下部接続部		—	—		—					
その他(フェールセーフ)	—				—					
その他(伸縮装置)		—	—	—	—					

所見	(適宜、所見を記入)
----	------------